

2021 年度実施概要

学校名

はけみや保育園

採択活動名

身近な海や川との関わり方を自然の恵みと災いの両面から学ぶ

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
身近な海や川との関わり方を自然の恵みと災いの両面から学ぶ	5 歳児	環境

取り組みの概要

1. <事前学習>身近な川と海のお話し会

実施日：2021 年 10 月 14 日（木）10 時～11 時

実施場所：はけみや保育園

概要：あしきた・まちのこども園との交流・しおまねき観察会の事前学習として、在園児の保護者である浪崎直子氏を講師に、身近な川と海のお話し会を実施した。初めに、自然の恵みと災いの両面を学ぶため、はけみや保育園近くの坪井川と児童との関わりを確認した。次に、交流するあしきた・まちのこども園が 2020 年の熊本豪雨で被災したこと、園の近くにある佐敷川と八代海について学んだ。海の世界連鎖カードを使って、海の生き物と人間との繋がりを学習した。干潟の大型ジグソーパズルを全員で完成させ、干潟にすむ生き物について学習した。



2. あしきた・まちのこども園との交流・しおまねき観察会

実施日：2021 年 10 月 20 日（水）8 時半～16 時半

実施場所：あしきた・まちのこども園・佐敷川緑地公園の干潟

概要：はけみや保育園 5 歳児があしきた・まちのこども園を訪問し、近くの河口干潟でしおまねき観察会を実施した。初めに、あしきた・まちのこども園の前田園長先生より昨年の熊本豪雨の被害についてお話を聞いた。「やおやのお店やさん」の手遊びを、魚屋さんや水族館のバージョンに変えて実施し、交流した。佐敷川緑地公園で昼食後、河口干潟でしおまねき観察会を実施し、干潟にすむ生物を観察・採集した。

採取した生物の一部は園に持ち帰り飼育した。まん延防止等重点措置により1ヶ月遅れての開催となり、予定していた羽釜でご飯を炊く体験は感染防止の観点から実施を控えたが、児童は全員参加となり、貴重な交流の機会となった。体験後は、振り返りとして芦北の海の絵を描いた。



3. <事後学習>お魚さばき体験・お魚クッキング

実施日：2021年10月22日（金）8時半～13時

実施場所：はけみや保育園

概要：事後学習として、お魚さばき体験・お魚クッキングを行った。実際に鮮魚店に足を運び、カツオ・サワラ・ヒラメ・シマアジ・マダイ・ヤリイカの6種類の魚を購入した。鮮魚店を営む在園児保護者の江浦氏の協力を得て魚のさばき方を学び、児童はマダイの鱗とりやヤリイカの手捌きを体験した。照り焼きや味噌焼き、イカの酢の物、荒汁などを作った。絵本の読み聞かせを行い、海の恵と災いについて振り返った。



4. <事後学習>お魚スケッチ

実施日： 2021 年 11 月 12 日（金） 9 時 30 分～11 時 30 分

実施場所：はけみや保育園

概要：あしきた・まちのこども園との交流や干潟観察、お魚解体などの体験を通して興味を持った様々な魚の絵を鉛筆や絵の具などを使い描いた。

5. <事後学習>海や魚をモチーフにした制作活動

実施日： 2021 年 11 月 26 日（金） 9 時 30 分～11 時 30 分

実施場所：はけみや保育園

概要：今回の学習体験（事前学習会、あしきた・まちのこども園との交流や干潟観察、お魚解体など）により興味関心を深めたことや思い出に残っていることを色画用紙や段ボールなどを使い制作物で表現した。